

一般質問通告一覧表

(令和7年12月定例会)

通 告 番 号	氏 名	一般質問登壇日 及び予定時刻
通告1番	菊池美知男	12月8日(月) 10:00~11:00
通告2番	角田保寿	12月8日(月) 11:00~12:00
通告3番	星恵子	12月8日(月) 13:00~14:00
通告4番	根本重泰	12月8日(月) 14:00~15:00
通告5番	乾初美	12月8日(月) 15:00~16:00
通告6番	鈴木義延	12月9日(火) 10:00~11:00
通告7番	水野谷常子	12月9日(火) 11:00~12:00
通告8番	瀬谷京子	12月9日(火) 13:00~14:00
通告9番	金沢和則	12月9日(火) 14:00~15:00

※掲載の時間は目安です。進行状況等により開始時間が繰り上がるなど、時間は前後しますので予めご了承ください。



令和7年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 1 番

令和7年11月26日 午前10時15分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年11月26日

質問者 7 番議員 菊池 美知男

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 高齢者福祉について	長い間、本町の発展や産業振興のために苦勞をいとわず貢献された高齢者の方々に対しては、敬意、今後も元気で長生きして楽しい日々を過ごして頂くことは町民均しい願いである。 そのため、敬老会など伝統を守りながら行うもののほか、様々な事業についても、実施のみならず毎年検証を行い、時代の流れや当事者ニーズに沿った、より良い事業となるよう見直しが必要であると考えます。 そこで、次の点について伺う。 (1) 敬老会の開催状況と課題について (2) 高齢者の外出支援について (3) 独居老人や高齢者世帯等が安心して自立した生活を送るための仕組みづくりについて	町長 所管課長
2. 水道事業について	水道事業所では、法令に基づき安全性に問題のない水を給水しているところであるが、住民としては、浄水後のにおいや風味などが気にならない水の供給を求めていると考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 安全はもとより、おいしい水を給水するための取り組みについて (2) 浄水器等の購入に対する支援策について (3) 今後の水道事業経営の見通しについて	町長 所管課長

3. 河川管理について	河川は、飲料水の確保や農業用水の供給などの利水と、環境面では親水公園などの水辺空間での憩いの場にもなる。 一方、水害から生命・財産を守る治水については、川底の土砂を取り除く浚渫工事のほか河川のり面、堤防などの管理を怠ると洪水等による甚大な被害を被ることになる。 そこで、次の点について伺う。 (1) 町管理やそれ以外の河川管理状況について (2) 水害対策や害虫駆除等河川敷、堤防整備の要望に対する関係機関への働きかけについて	町長 所管課長
--------------------	--	--------------------



令和7年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 2 番

令和7年11月26日 午前10時40分 受付

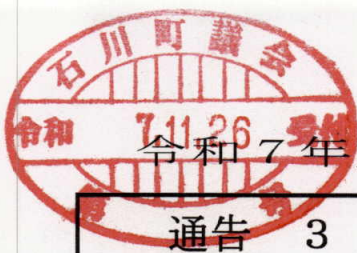
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年11月26日

質問者 6 番議員 角田 保寿

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 高齢者に対する支援等について	高齢世帯や独居世帯が今後も増加していくことで、高齢者を取り巻く課題は多岐にわたり、深刻であるが、自治協議会や長寿会など、地域で支え合う組織の維持や、健康を維持して安心して暮らせる環境づくりは、町の持続的な発展のためにも必要であると考えます。 そこで、次の点について伺う。 (1) 長寿会に対する町の支援について (2) 町マイクロバスの利用拡大について (3) 令和6年3月定例会一般質問の「終活登録」のその後について	町長 所管課長
2. 残された旧保育所の今後のあり方について	今年4月からいしかわこども園が開園したことで町内保育所は1つとなったが、利用がされずそのままの旧保育所がある。 そこで、次の点について伺う。 (1) 不用になった第一、第二保育所の利活用について (2) 使用されていない旧母畑保育所について	町長 教育長 所管課長
3. 町行政に対する信頼の回復について	首藤町長就任から1年半が経過したが、行政の信頼回復と町民満足度を向上させるため、掲げた公約の実現は、町民も期待している。 そこで、次の点について伺う。 (1) 信頼回復のための取り組みについて (2) 町民第一主義の考え方について (3) 道の駅の進捗状況について	町長 所管課長



令和 7 年第 4 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 3 番

令和 7 年 11 月 26 日 午前 11 時 15 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 11 月 26 日

質問者 3 番議員 星 恵子

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 読書に親しむ環境の整備・充実について	令和 7 年度から小中学校に学校司書が配置されるなど、「新・石川町子ども読書活動推進計画」の具現化に向けた施策が実施されているが、さらに実効性を高めるためには、教育機関と町の図書館との連携が重要と考える。 そこで次のことを伺う。 (1) 学校司書配置の成果と課題について (2) 町図書館の利活用状況と事業内容について (3) 小中学校等と町図書館の連携について	町長 教育長 所管課長
2. 本町の健康・医療の充実について	第 6 次総合計画の基本目標 1 「健康で元気に暮らせるまち」の、施策の一つである保健・医療の充実では、「健康に対する意識を高め、積極的に健康づくりや健康診査が受信しやすい体制を維持する」としているほか、第三次健康いしかわ 21 計画では、がんの受診率向上を評価指標に掲げ、目標値が設定されている。 また、保健医療の充実を図るため、「誰もが安心して適切な医療を受けることができるよう、医療体制の整備を図る」としているが、県が行う新たな医療に対する費用助成事業などについても、県に合わせて、本町も事業の適用をすすめる必要があると考える。 そこで次のことを伺う。 (1) 特定健診の受診状況と今後の課題について (2) がん検診の受診率の向上に向けた取り組みについて (3) 造血幹細胞移植後の予防接種「再接種」費用の助成について	町長 所管課長



令和7年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 4 番	令和7年11月26日 午前11時50分 受付	
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。 令和7年11月26日 質問者 8 番議員 根本 重泰 石川町議会議長 近内 雅洋 殿		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 石川町水道事業について	人が生きていくうえで、飲料水・生活用水は欠くことのできないものである。 石川町の上水道普及率は78.6%（令和6年末）、未普及地域には「飲用井戸給水施設等整備事業補助金」で対応してる。 今、町の水道事業で、浄水場施設の改修工事は進んだが、新たに原水の悪化、これまでの老朽管の更新など喫緊の課題が山積している。 そこで、次の点について伺う。 (1) 原水水質悪化の現状について (2) 水道水水質の改善対策について (3) 石川町水道事業経営戦略改定にあたっての重点課題について	町長 水道事業所長



令和 7 年第 8 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 5 番

令和 7 年 1 1 月 2 7 日 午前 9 時 5 0 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 1 1 月 2 7 日

質問者 13 番議員 乾 初美

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 町営住宅家賃滞納問題について	町営住宅使用料の未収金については、早期の滞納家賃の回収が重要であるが、長期化することで回収不能となるケースや、やむを得ない理由による不能欠損処理など、滞納処理については、自主財源の確保と負担の公平性の確保を図るため、抜本的な債権管理体制の見直しが必要と考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 家賃滞納の現状について (2) 家賃滞納に対するこれまでの取り組みについて (3) 町営住宅入居に関する連帯保証人の調査について (4) 家賃滞納の解消に向けた取り組みについて	町長 所管課長
2. 医療的ケア児の支援体制について	2016年の児童福祉法の改正では、医療的ケア児と市町村の支援・責務が定義されたが、重度心身障がい児の55%は医療的ケアが必要というデータもある。 今現在において、町への相談や実績はないとのことだが、相談の依頼があった場合、保育施設や小中学校に在籍するような場合には、受け入れ態勢について協議する機会が必要と考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 町における相談体制の整備について (2) 医療的ケア児等コーディネーターについて (3) 認定こども園、小中学校への受け入れ態勢について (4) 災害時における医療的ケア児の避難対策について	町長 教育長 所管課長



令和7年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 6 番

令和7年11月27日 午前9時15分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年11月27日

質問者 5 番議員 鈴木 義延

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 児童クラブの現状と今後の運営について	児童福祉法では、放課後児童クラブについて「小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び場及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。」と規定しているが、本町の児童クラブの運営等に課題はないか。 そこで、次の点について伺う。 (1) 児童クラブの運営に係る課題と、今後の運営方針について	教育長 所管課長
2. 鳥獣被害対策について	全国での野生鳥獣による農作物被害額は、令和5年度は164億円に達しているほか、今年度は、熊による人的被害が急増し、10月末時点で死者12人を含む約200人が被害にあっている。本町においても、数度にわたり熊が出没するなど、喫緊の課題として早急な対策が求められている。 鳥獣被害対策は、個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理の3本柱が基本になるが、予算や人材不足、ICT技術導入の遅れ、さらには狩猟者の減少や高齢化など課題は山積しており、法整備や財政支援、ガバメントハンターの育成などの対応が急がれる。 そこで、次の点について伺う。 (1) 本町が取り組む鳥獣被害対策の概要について (2) 今後の熊対策と、緊急銃猟を行うに至った場合の町民対応について	町長 所管課長



令和 7 年第 8 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 7 番		令和 7 年 1 1 月 2 7 日 午前 1 0 時 1 5 分 受付
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。 令和 7 年 1 1 月 2 7 日 質問者 2 番議員 水野谷 常子 石川町議会議長 近内 雅洋 殿		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. おくやみ窓口の行政サービスについて	大切な家族を亡くされた後、ご遺族は死亡届、保険、年金、税金の手続きや、水道料金の名簿変更など様々な行政手続きに追われる事になる。これらの手続きは複数の窓口にもたがるほか、必要事項や書類等の多さなど、ご遺族にとっては大きな負担が発生する。 国においても、書かないワンストップ窓口の実現を目指しており、本町においてもその前段として窓口業務のワンストップ化を推進すべきと考える。 そこで、その対応について伺う。 (1) 現在のおくやみに関連する手続きの連携と、関係課への案内について (2) おくやみハンドブックの作成について (3) おくやみ窓口ワンストップサービス導入について	町長 所管課長
2. 鳥獣被害（クマ）対策について	全国各地で熊による被害が多発している。福島県での熊の目撃情報や人的被害は過去最多で、現在も増加を続けている。また、4月からの熊の捕獲数も過去最多を上回るペースである。本町でも今年7月から目撃情報が寄せられており、このような状況は町民の生命、財産を脅かしかねないことから、早期の対策が必要であると考えます。 そこで、次の点について伺う。 (1) クマ出没時の対応マニュアルの進捗状況と、町の体制について (2) 熊の追い払い、罠での捕獲、銃器による駆除、それぞれの判断基準について	町長 所管課長

	(3) 石川町鳥獣被害対策実施隊の担い手、人材の確保について	
3. ネーミングライツの導入について	人口減少が進むことで今後想定される町税等の減少など、安定した自主財源の確保が今後の大きな課題である。そこで、自主財源確保の一つとしてネーミングライツの導入が考えられる。公共施設などに企業名をつける命名権を売買する仕組みであり、自治体は施設の維持管理経費を確保し、企業側は宣伝効果と地域貢献をアピールできるなど、互いに有効な取り組みではないかと考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) ネーミングライツの導入について	町長 所管課長



令和 7 年第 8 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 8 番

令和 7 年 1 1 月 2 7 日 午前 1 1 時 0 0 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 1 1 月 2 7 日

質問者 1 2 番議員 瀬谷 京子

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 教育施設の充実について	今年7月～9月の3か月間の石川町の気温は、30℃以上の真夏日が36日、35℃以上の猛暑日が24日であった。今年の夏は平均気温が平年より1.76℃高く史上最も暑くなった。国連の気象変動に関する政府間パネル（IPPC）の予測では、2030年前後の平均気温が1.5℃上昇の可能性が高いとしている。21世紀末の日本では平均気温が上昇し猛暑日や熱帯夜が増加するとしている。 学校現場では、屋外での体育活動が困難で、体育館やプールに移行している。 また、今年4月に開園した認定こども園については、これから到来する冬季間の環境整備が懸念される。 そこで、次の点について伺う。 (1) 熱中症対策として、避難所にもなる学校体育館へのエアコンの設置について (2) 認定こども園の除雪対策について	町長 教育長 所管課長
2. 文教教育施設の魅力化について	本町の文教教育施設については、モトガッコをはじめとして、鈴木重謙屋敷、歴史民俗資料館イシニクルのほか、認定こども園の開園など充実したが、今後も魅力化を図り、施設を有効活用していくことが望まれる。 また、認定こども園については、園舎北側の外壁が暗く感じる。施設の雰囲気明るくすることで、親しみやすいこども園になるのではないか。子どもたちや地域にとっても、楽しい景観づくりにつながり、町の魅力向上に寄与するのではないかと考える。 そこで、次の点について伺う。	町長 教育長 所管課長

	(1) イシニクルについては、企画が充実し、町外からの来館者が増加していると聞く。これまでの来館者の状況と今後の主な計画、PRの強化について (2) モトガッコのオープンスペースは、日常的に町民が気軽に憩える場所として利用されているが、町民からの利用環境に対する改善意見や課題はあるか (3) 認定こども園園舎の魅力向上について	
3. 県立石川高等学校の存続について	県立石川高校は令和8年度に各学年1クラスとなり、全学年合わせて3クラスとなる。県立高等学校改革後期実施計画は、令和10年度が最終年度である。本計画では本校は「地域協働推進校」と位置づけ地域に貢献できる人材の育成を目指している。他校にない「地域と共に歩むキャリアチャレンジ教育」は特筆すべきである。 少子化も加速することから、危機的状況も危惧される。しかし当地方に公立高校の存在は不可欠であり地域が一体となって存続問題に向き合わなければならない。 そこで、次の点について伺う。 (1) 令和4年度から町が導入している県立石川高校魅力化支援員の活動と評価について	町長 教育長 所管課長



令和 7 年第 8 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 9 番

令和 7 年 1 1 月 2 7 日 午前 1 1 時 4 5 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 1 1 月 2 7 日

質問者 4 番議員 金沢 和則

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 自治体DX及び地域社会DXへの石川町の取り組みについて	自治体DXは、行政サービスの向上・維持を目指す、住民の生活をより良いものにするために必要不可欠な取り組みであり、本町における現状と今後の方針について考えを伺う。 (1) 自治体DXの今年度の取り組み状況と来年度以降の方針について (2) 地域社会DXについて町としてどのように関わるのか、その方針について (3) 自治体DX及び地域社会DXの推進には、司令塔となる部署が必要と考えるが、現在の役場組織について再編をし、DXに特化した部署の新設についての考えはあるか、また、専門知識を有する職員の計画的な採用方針について (4) DXの推進にあたり、既存職員に対しての情報リテラシーについての研修を段階的に進めるべきと考えるが、その計画について	町長 所管課長
2. 農地法及び関係法令に基づく手続きについて	農地法及び関係法令に基づく手続きについて考え方を伺う。 (1) 特例条例に基づき農地法4条及び5条の許可について権限移譲を受ける考えについて (2) 権限移譲を受ける際には、農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員に対する農地法及び関係法令の研修が必須と思われるがその方針について (3) 農業経営基盤強化促進法による利用権設定の廃止後、代替手続きの推進状況について	町長 農業委員会 所管課長